

Office of the President

June 12, 2022

His Excellency Antonio Guterres
Secretary General
United Nations
New York, NY 10017
USA

Dear Mr. Secretary-General,

I am pleased to confirm that Doshisha University supports the ten principles of the UN Global Compact with respect to human rights, labour, environment, and anti-corruption. With this commitment, we express our intent to advance these principles within our sphere of influence, and will make a clear statement of this commitment to our stakeholders and the general public.

We also pledge to take part in the activities of the UN Global Compact where appropriate and feasible - through, for instance, participation in Country/Local Networks; involvement in specialized initiatives and work streams; engagement in partnership projects; and reviewing and providing commentary to participating companies on their Communications on Progress.

Yours sincerely,



Professor Dr. UEKI Tomoko
President
Doshisha University

コミュニケーション・オン・エンゲージメント(COE)
同志社大学

本コミュニケーション・オン・エンゲージメントが対象とする期間

開始日:2020年6月13日 終了日:2022年6月12日

パートⅠ. 最高責任者による国連グローバル・コンパクトへの継続的支持の表明

2022年6月12日

ステークホルダーの皆様へ

私は、同志社大学が人権、労働、環境、腐敗防止に関する国連グローバル・コンパクト10原則を支持することをここに確認し、ここに表明いたします。これは、国連グローバル・コンパクトに対する当団体のコミュニケーション・オン・エンゲージメントです。皆様のフィードバックをお待ちしています。

このコミュニケーション・オン・エンゲージメントでは、当団体をはじめとする各種組織に対して提案された国連グローバル・コンパクトおよびその原則を支持するために当団体が行った取り組みについて説明しています。また、当団体の主要なコミュニケーション媒体を通じて、当団体の取り組みを積極的にステークホルダーの皆様に公表していきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

植木 朝子
同志社大学 学長

パートⅡ. 取り組み状況

2020年6月～

① JICA(日本国際協力機構)を通じた学生(途上国政府職員)の受入(GC 原則:人権、腐敗防止、SDGs Item 4,16:教育、ガバナンスと平和構築支援)

②COVID-19 Research Project の実施(GC 原則全般、SDGs Item 全般)

2020年7月

③欧州安全保障機構(OSCE)、協力のためのアジアパートナーとしてテーマ別ディスカッションにおける発表(GC 原則:腐敗防止、SDGs Item 16:汚職対策)

テーマ:「腐敗との闘い」

2020年11月

④Global Resource Management プログラム ドキュメンタリーフィルムイベント開催(GC 原則:人権、腐敗防止、SDGs Item 1,3,8:貧困、保健、成長・雇用)

テーマ:「5Gの真実 世界で反5G運動を引き起こしている原因は?」

2020年12月

⑤Global Resource Management プログラム キャリアセミナー開催(GC 原則:労働、SDGs Item 4:教育)

テーマ:「Career Building and Networking in Japan」

⑥Global Resource Management プログラム オンライン講義(GC 原則:環境、SDGs Item 11:都市計画)

テーマ:「Rural road access improvement for youth employment promotion in Africa
アフリカの若者雇用促進のための地方道路アクセスの改善について」

⑦Global Resource Management プログラム ドキュメンタリーフィルムイベント開催(GC 原則:人権、SDGs Item 16:平和構築)

テーマ:「Blood and Tears: French Decolonization／血と涙:フランスからの脱植民地化」

2021年1月

⑧良心学研究センター 総括シンポジウム開催(GC 原則全般、SDGs Item 全般)

テーマ:「パンデミック時代における良心——世界観を更新するための学際的研究」

⑨ヒューマン・ディグニティ研究センター・Global Resource Management プログラム オンライン
国際会議 (GC 原則: 人権、SDGs Item 3: 保健)

テーマ: 「Global Divisions and Crisis during the COVID-19 Pandemic」

2021年2月

⑩ヒューマン・ディグニティ研究センター・Global Resource Management プログラム オンライン
講演会 (GC 原則: 人権、SDGs Item 10: 不平等)

テーマ: 「On France: Free Speech, Racism and Criminalizing Minorities」

⑪Global Resource Management プログラム スペシャルウェビナー (GC 原則: 人権、SDGs
Item 16: 平和)

テーマ: 「The State and Fate of American Democracy」

2021年3月

⑫同志社大学・チュービンゲン大学研究交流シンポジウム「Doshisha Week 2020」開催 (GC
原則: 人権、SDGs Item 3, 4, 17: 保健、教育、海外パートナーシップ)

テーマ: 「COVID-19 Research: Challenges and Achievements for the Society」

⑬グローバルコンパクト・ネットワークジャパン 2020年度 SDGs 企業調査への寄稿および出版記
念オンラインセミナーへの登壇 (モデレーター) (GC 原則全般、SDGs Item 全般)

2021年5月

⑭大学院生対象キャリアセミナー開催 (GC 原則: 労働、SDGs Item 4: 教育)

テーマ: 「国連職員に求められる人材とは？」

2021年6月

⑮国連グローバルコンパクト リーダーズサミット、サイドイベントにおける発表 (GC 原則: 人権、労
働、SDGs Item 5: ジェンダー)

Gender Equality as a Key to Well-being の企画、モデレーション

2021年8月

⑯グローバルコンパクト・ネットワークジャパン GCの社内浸透研究分科会での講演 (GC 原則: 人
権、労働、SDGs Item 17: SDGs アイテム全般)

テーマ: 「ウェルビーイングとSDGs」

2021年9月

⑰第38回ケンブリッジ大学国際セミナーにて発表（GC 原則：腐敗防止、SDGs Item 16：経済犯罪）

テーマ：Economic Crime – who pays and who should pay?”

2021年12月

⑱同志社大学 Well-being 研究センター ウェルビーイングなキャリアを考える就活セミナー（GC 原則：労働、SDGs Item 8：成長・雇用）

第1弾テーマ：「セルフコーチングを体験しよう」

第2弾テーマ：「自分の興味関心からやりたい職種、働きたい業種を探す方法」

第3弾テーマ：「面接を突破するためのテクニック」

⑲第101回人文科学研究所公開講演会（GC 原則：環境、SDGs Item 7,9：エネルギー、イノベーション）

テーマ：「グリーン社会とソーシャル・イノベーション 復興10年を超えて」

⑳グローバルコンパクト・ネットワークジャパン ジェンダー平等事例集の作成（GC 原則：人権、SDGs Item 5：ジェンダー）

2022年3月

㉑グローバルコンパクト・ネットワークジャパン 人権教育分科会での講演（GC 原則：人権、SDGs Item 3：保健）

テーマ：「ストーリーで考える人間の尊厳とウェルビーイング」

2022年4月～

㉒キャリア形成支援科目として「SDGsで考える社会課題とキャリア形成」を開講（GC 原則：人権、労働、SDGs Item 4：教育）「ストーリーで考える人間の尊厳とウェルビーイング」

㉓AIを用いてウェルビーイングを考える授業を開講（GC 原則：人権、SDGs Item 4：教育）

2022年5月

㉔インドネシアの国際会議にて報告（GC 原則：腐敗防止、SDGs Item 16：ガバナンス）

テーマ：人間の安全保障とアジャイルガバメント

㉕SDGsを意識した特別科目の設置と実施（GC 原則全般、SDGs Item 全般）

パートⅢ. 成果の測定

- ① 東ティモール、アフガニスタン、アフリカ諸国等、紛争国や最貧国から政府機関職員等を学生として受け入れ、人材育成を行っている。東ティモールからは将来指導者層となることが期待される優秀な若手行政官等を受け入れ、帰国後は、社会・経済開発計画の立案・実施において、留学中に得た専門知識を有する人材として活躍すること、またひいては日本の良き理解者として両国友好関係の基盤の拡大と強化に貢献する人材を育成している。アフガニスタンからはインフラおよび農業・農村開発分野の行政官・大学教員を日本の大学に研修員として受け入れ、人材育成により関連する省庁の計画・事業実施能力の強化に貢献している。アフリカ諸国からの学生は産業人材としての育成と日本企業のアフリカビジネスをサポートする「水先案内人」の育成を目的とし、修士号取得と日本企業などでのインターンシップの機会を提供している。また本プログラムを通じ、日本人学生も異文化や宗教の価値観について学習している。
- ② 「健康・医療」、「社会・経済」、「教育・文化・生活」の3つの領域に、9つの分野を設け、77課題のプロジェクトを始動した。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）禍の後に到来する、社会構造や価値観の変化も含めた変革の時代を見据え、ポストコロナの新しい社会の在り方、自由と平等の維持、必要とされる技術の開発等、様々な立場や専門分野からポストコロナを多角的に捉え、価値ある方向性を含んだ研究成果を、広く社会へ情報発信できるよう努めている。
<https://kikou.doshisha.ac.jp/reactivities/covid-19research.html>
- ③ 欧州の安全保障問題と汚職対策に関し、アジア（日本）の経験を共有することにより、解決策の策定へ向けたディスカッションを可能とした。
- ④ ～⑦、⑨～⑪
GRM（グローバル・リソース・マネジメント）文理融合博士課程プログラムの活動の一環として実施。SDGs 目標に取り組むための、高等人材育成を通じた教育プログラムであり、年間を通じて貧困、人権、開発、平和、環境等のスペシャリストを外部より招へいし、これらのグローバルな問題について文系・理系の枠を超えた形で問題対処法について学習している。SDGs 目標全17項目を横断的に網羅する形でカバーされている。
- ⑧ 2020年7月から12月にかけて、良心学研究センター研究員および学内の他研究センター・研究プロジェクトの教員が Zoom 対談の形で、それぞれの専門的見地から、コロナによって変化した社会を分析しつつ、今後の世界のあり方を展望してきた。本シンポジウムでは、あらためて重要なテーマを振り返ると共に、全体を総括するための議論を行い、参加者との質疑応答も実施した。
<https://ryoshin.doshisha.ac.jp/jp/activity/20210111/>

- ⑫ 同志社大学とドイツのテュービンゲン大学はそれぞれ COVID-19 に関する研究を生命科学、医学、社会科学等さまざまな分野で進めている。本シンポジウムでは両大学の研究者により、2 日間にわたり「COVID-19 の認知・免疫学的影響」「サイエンス・コミュニケーション」「キャンパスの国際化」の 3 つのトピックについて講演と対話を行った。コロナ禍における社会が直面している挑戦と成果について、日独間の経験と問題点を共有することで、理解の深化を可能とした。両日で延べ 80 名程度の参加があり、両大学の研究者の今後の交流につながる、実り多い研究交流シンポジウムとなった。

<https://www.doshisha.ac.jp/news/2021/0326/news-detail-8184.html>

- ⑬ グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンと地球環境戦略研究機関（IGES）が毎年発行している「SDGs 調査レポート」の2020年度版発行にあたり、SDGs 企業調査への寄稿を行うとともに、出版記念オンラインセミナーに登壇した。今回はパンデミックによる企業の SDGs についての意識変化やコロナ克服戦略における SDGs の位置づけ等に焦点を当てている。また記念イベントではパネルディスカッションにモデレーターとして登壇し、議論を通じてコロナ禍を克服する SDGs とビジネスについて深堀りした。

<https://www.ungcjin.org/activities/topics/detail.php?id=407>

- ⑭ 日本国内はもとより、グローバル規模で SDGs 課題を横断的に関与し活躍できる人材育成の在り方と、望ましいキャリア開発の方法を目指したセミナーの実施を通じて、日本のキャリア開発とは異なった考えや行動が必要であることを学習した。

- ⑮ SDGs ランキングに関し、ジェンダー・ギャップで 120 位と遅れている日本で、ジェンダー平等を積極的に推進している企業とともに、実施上の課題やそれに対する工夫や対策を発表した。約 450 のグローバル・コンパクト参加団体のほか、世界各地の企業も参加した。

<https://ungcjin.org/activities/topics/detail.php?id=435>

- ⑯ グローバル・コンパクト・ネットワーキング・ジャパン内の分科会において、「ウェルビーイングとSDGs」をテーマに講演を行い、参加者に知識提供を行った。

- ⑰ 英国ケンブリッジ大学並びに英国政府主催の国際セミナーへの参画を通じて、世界規模の経済犯罪問題に取り組むための議論と提案を可能とした。

- ⑱ 第1弾：15年以上コーチング業界で活躍し、自ら 1on1 で行う経営層向けのエグゼクティブコーチングや、組織全体を対象に企業価値を高める組織開発型コーチングなど多種多様なコーチング経験を有する講師を招き、豊富なコーチング経験をベースに、「キャリア」に関する様々な視点、情報を紹介した。

第2弾:アルバイト、部活など就活生がこれまで体験してきた様々な活動を糸口に、就職に際して大切にしたい価値観や、就職して伸ばしていきたい能力、そして生涯に渡って変わらない自分軸を明らかにするサポートを行った。

第3弾:NLP(神経言語プログラミング)を使った自己コントロール法を紹介し、就職活動に成功するイメージを強化するワーク(実習)と就活全般や面談に際しての「不安や緊張」から脱するテクニックを伝授した。

- ①⑨ 東日本大震災から10年を経てエネルギー政策が大きく自然エネルギーへシフトしようとしている中、グリーン社会を市民がどうデザインしていくのか、また目指す社会をどう実現していくのかを、時代をリードする東北からのゲストを迎え、これからの10年について考える機会を持った。
- ②⑩ グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンにてジェンダー平等事例集を発行するにあたり、企画・編集・執筆等、政策全般にわたり協力を行った。後日英語版を追加予定。
<https://ungcjn.org/activities/topics/detail.php?id=466>
- ②⑪ グローバル・コンパクト・ネットワーキング・ジャパン内の分科会において、「ストーリーで考える人間の尊厳とウェルビーイング」をテーマに講演を行い、参加者に知識提供を行った。
- ②⑫ SDGs の基本理念や導入の経緯を理解し、今後の社会のあり方にどのような影響を及ぼしうるのかを学ぶ科目である。また、企業やNGO・NPO、政府・自治体等による課題解決のための様々な取組例を通じて、自身の専門性を活かした社会課題との係わり方を考え、その後の大学での学びにつなげることを目的としている。授業は日本経済新聞社との連携科目として開講し、SDGs に詳しいベテラン記者がリレー形式で担当する。
- ②⑬ DataRobot 社の協力の下、自分や社会、地球の幸福について考えるウェルビーイングの講義「ウェルビーイングとコーチング入門:意味ある人生とコミュニケーションのために」(主担当:飯塚まり 大学院ビジネス研究科教授、ウェルビーイング研究センター長)に、AI を取り入れている。ウェルビーイングに関連する講義でAIを採用する試みは日本初となる。幸福のためのAI利用や倫理などの議論が、教育の現場での実践を通じて大学院レベルまで進展し、SDGs への貢献が期待される。
- ②⑭ インドネシアの開発やガバナンス問題を取り上げ、日本の経験を生かし、学術的知識を共有することにより、インドネシアの開発政策の改善に貢献した。
- ②⑮ 高等教育人材育成の一環として SDGs の全目標を横断的にカバーする科目(例えば資源管理、開発(貧困、平和、人権等))を開講し、様々な 이슈に係る議論を可能とした。

ASIAN PARTNERS FOR CO-OPERATION GROUP MEETING
10 JULY 2020 9 a.m.
via ZOOM

Draft Agenda

1. Thematic Discussion “Combating Corruption”

- Mr. Chitaru SHIMIZU, Director, International Safety and Security Cooperation Division, Foreign Policy Bureau, MFA Japan
- Dr. Eiiji OYAMADA, Professor at Doshisha University in Kyoto
- Professor Paola Severino, Special Representative of the Chairman-in-Office on Combating Corruption
- Mrs. Judita Brzobohatá, the Corruption Prevention Department, the Government Office of the Slovak Republic

2. Current Issues

Statements, comments, questions and answers

3. Any other business



Ideas for Solutions

GRM Documentary Film of the Month – November
GRM ドキュメンタリーフィルムイベント - 11月



The Truth about 5G

What is driving the global anti-5G movement?

5Gの真実 世界で反5G運動を引き起こしている要因は？

No
Reservation
Required



予約不要

Date: Wednesday 18 November 2020

Time: 17:30 P.M.- (video length: 45 Mins.)

Venue: SK118, Shikokan Building, Karasuma Campus, Doshisha University
同志社大学 烏丸キャンパス 志高館 SK118

This documentary film investigates the rise of the anti-5G movement and the spread of wild conspiracy theories tying the COVID-19 pandemic to the 5G rollout plan.

反5Gデモ、新型コロナウイルスの蔓延と5Gとの関係性を検証します。

The Storyline of the Film (Content)

Activists claiming 5G is an invisible and potentially deadly health hazard, blame the radiation emitted by the technology for a range of long-term health problems. They have demanded an immediate end to the current rollout, protesting in the streets even amidst the threat of the COVID-19 pandemic. The film investigates these claims, exploring how 5G technology really works and examining the scientific studies undertaken into whether it is in fact a threat to our health.

You are welcome and free to join watching the documentary film.
We will have free talk and discussion on the film and related issues.



Contact: Dr. Iyas Salim (Assistant Professor) iabuhaji@mail.doshisha.ac.jp
The Research Center for Human Dignity and GRM Program, Institute for Advanced Research and Education, Doshisha University

GRM Program Career Seminar

Career Building and Networking in Japan

Language : English and Japanese

Program for Leading Graduate School 'Global Resource Management (GRM)' provides great opportunities for students to meet people who are active in various fields after completion of graduate schools, and to make a career choice. (All students welcome.)

H.E. Dr. Norbert PALANOVICS, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Hungary will speak about his foreign student experiences, career building and networking in Japan in the first half. We will also have a Q&A session in the second half.



3rd December (Thr.) 12:20pm~1:10pm
Ryoshinkan 418 and Online Lecture on Zoom

For more information, please visit the GRM website

Hungary Ambassador to Japan
 H.E. Dr. Norbert PALANOVICS



Dr. Norbert Palanovics is the Ambassador of Hungary to Japan. He was born in Pecs. He first arrived in Japan in 2002. His PhD thesis about Japan's peacebuilding-based ODA diplomacy was successfully defended at Nagoya University in 2008. He was later invited back to Nagoya University as a visiting professor. He was appointed Ambassador of Hungary to Japan in 2016.

Dr. Norbert Palanovics speaks Japanese, English, Spanish, German and Hungarian. His hobbies include food culture, movies, sports, traveling, exploring and understanding new cultures.

CONTACT : GRM Office, Doshisha University
Advanced Doctoral Program in Global Resource Management

GRM
 Website



GRMプログラムオンライン講義 GRM Program Online Session

Rural road access improvement for youth employment promotion in Africa

アフリカの若者雇用促進のための地方道路アクセスの改善について

言語：英語
Language: English

12月12日（土）

12th December (Sat.) 13:10 – 14:40

学部生・大学院生・本学教職員対象

オンライン開催(Zoom)：事前申込制
申込は[こちら](#)より（QRコードからもアクセス可）

Online Participation by ZOOM
Application required in advance
(Click [here](#) or access by QR code)



講師：福林 良典 氏

Lecturer: Dr. Yoshinori Fukubayashi

宮崎大学 工学教育研究部 社会環境システム工学科担当 准教授
NPO法人 道普請人（みちぶしんぴと）理事

Associate Professor,
Faculty of Engineering, University of Miyazaki PhD
Director, NPO CORE Community Road Empowerment
<http://coreroad.org/>



京都大学工学部卒業。京都大学大学院工学研究科修士課程を修了し、建設会社に勤務。その後、再び同大学院にて工学研究科都市環境工学を認定退学。現在は、宮崎大学で強靱をとりつつ、研究成果の普及と発展のためNPO法人 道普請人でも活動する。

Dr. Fukubayashi completed the Graduate School of Engineering (Environmental Engineering) at Kyoto University in 2007. Currently he teaches at Miyazaki University, and also works for the NPO "CORE Community Road Empowerment" to spread and develop his own research findings.

お問い合わせ：同志社大学 GRM事務局（高等研究教育院事務室）
CONTACT：GRM Office, Doshisha University

GRM
Website



同志社大学 大学院博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」Advanced Doctoral Program in Global Resource Management



Ideas for Solutions

GRM Documentary Film of the Month – December

GRM ドキュメンタリーフィルムイベント - 12月



⑦

Blood and Tears: French Decolonisation

血と涙：フランスからの脱植民地化



予約不要

No Reservation
Required

You are welcome and free to join watching the documentary film.
We will have free talk and discussion on the film and related issues.
47分程度のフィルムを見て、その後ディスカッションをします。是非お気軽にご参加ください。

17 December (Thur.) **5:30 p.m.** (video length:47 Mins.)

12/17(木) 17:30 (動画上映時間：47分)

This event will be held via ZOOM.

This documentary film is about the story of the decline of the French empire, exploring the debates about assimilation, race, identity and citizenship that have troubled France from then until now.

当時から今日までフランスを悩ませている同化、人種、固有性、市民権の問題を探りながら、フランス帝国の衰退を見ていきます。

The Storyline of the Film (Content)

Featuring interviews with war veterans and descendants of those who experienced the “blood and tears” of colonialism and decolonisation directly – in Africa, Southeast Asia, the Caribbean and the Pacific. The film also looks at the indelible mark this has left on the hearts and souls of close to half a billion people across five continents and some 45 countries.

Contact: Dr. Iyas Salim (Assistant Professor) iabuhaji@mail.doshisha.ac.jp

The Research Center for Human Dignity

GRM Program, Institute for Advanced Research and Education

Doshisha University



International Conference-Webinar

The Research Center for Human Dignity and GRM Program, Doshisha University, Kyoto

Online International Conference

Global Divisions and Crisis during the COVID-19 Pandemic

Wednesday, 20 January 2021

Worldwide divisions have increased during the global pandemic of COVID-19, as many countries and societies experience uncertainties and risks. The conflict of Nagorno-Karabakh, between neighboring Armenia and Azerbaijan, inflicted tragic civilian losses. The war threatened the stability of the wider Caucasus region. After weeks of direct military confrontation, a ceasefire has been signed, and it is being implemented on the ground in Nagorno-Karabakh.

In France, the French Republic stands at a familiar impasse on religion and free speech. Muslim leaders and scholars worldwide condemned the murder of the French teacher, but they also denounced repeating the cartoon depiction of Prophet Mohammad as both hate speech and Islamophobic. France is reeling from the daily increase in COVID-19 infections, as social tension dramatically spreads. Limits of free speech apply to race and ethnicity, but, when it comes to religion, it is treated differently. What limits of free speech do we need to apply on religious beliefs and the sacred?

At present time, global communities reflect diverse racial, cultural and religious realities. We live in changing dynamics in contemporary global society of globalized labor, migration and capital. And in a time when moral and visionary leadership is sorely needed, ethical responsibility among leaders is giving way to political narrowness, exclusivity, nativism and populism. A call for a collective response of inclusivity, justice and human dignity becomes a necessity. The global Pandemic has exposed systematic weaknesses in global south and global north alike. Lack of resources combined with inefficient governance plague the global south as millions continue to suffer. The pandemic has revealed structural injustices in the global north, exposing economic disparities, racial inequality, disenfranchised communities, racialized communities such as in the United States of America and Britain. In the Middle East, people continue the struggle for justice, freedom and human dignity against authoritarianism and dictatorships. Popular protests in Sudan, Algeria, Egypt, Iraq, etc., still demand a change for political inclusion and dignified lives. Palestinian people have denounced what is perceived as a 'normalization' between Israel's military occupation, UAE, and Bahrain as completely bypassing their legitimate rights. The online conference is going to tackle these issues in current global affairs in times of COVID-19. Specialists and speakers shall be invited from around the world to speak, discuss and exchange the latest.

WEBINAR LECTURE EVENT- GRM'S GLOBAL SITUATION ROOM
& THERESEARCH CENTER FOR HUMAN DIGNITY

⑩

ON FRANCE:

FREE SPEECH, RACISM AND CRIMINALIZING MINORITIES

ROKHAYA DIALLO

ROKHAYA DIALLO is a French journalist, writer and community activist. She has published several books and has written numerous articles. She has published both in French and international media including: The Guardian in the UK, Al Jazeera or The Washington Post in the USA. She also investigates for the INROCKUPTIBLES magazine and ELLE Magazine on subjects as far ranging as the revolution in Bahrain, discrimination in Tunisia or civil rights in the US and Black Lives Matter. Rokhaya is a commentator for a television and radio show: On refait le monde for RTL and on LCI for a political show named 24h Pujadas.



1 FEBRUARY 2021
17:00 KYOTO TIME | 9:00 AM PARIS TIME
VENUE: ZOOM



[Click here to join the meeting.](#)

MEETING ID:

956 4690 1191

PASSCODE:

GLOBAL

Contact: Dr. Iyas Salim (Assistant Professor)

The Research Center for Human Dignity and GRM Program, Institute for Advanced Research and Education,
Doshisha University



GRM Special Webinar

THE STATE AND FATE OF
AMERICAN DEMOCRACY

12 February 2021 10:30 AM
on Zoom



Guest Speaker
Nathan Stock

Adjunct Professor, Furman University ,
Non-Resident Scholar, The Middle East Institute

For more information,
Please visit website.



Contact: Dr. Iyas Salim (Assistant Professor)

The Research Center for Human Dignity and GRM Program, Institute for Advanced Research and Education,
Doshisha University
Office of the Institute for Advanced Research and Education





Global Compact
Network Japan



⑬

SDGs 日本企業調査レポート 2020 年度版 出版記念 オンラインセミナー ～コロナ禍を克服する SDGs とビジネス～

グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ) と地球環境戦略研究機関 (IGES) が 2016 年度より毎年発行している SDGs 調査レポートは、日本企業の SDGs 進捗状況を把握するための最も信頼性の高い資料の一つとして、今日、広く利用されています。

2020 年に発生した新型コロナウイルスのパンデミックは、ほとんどの企業に想定を超える影響を及ぼしましたが、SDGs 調査レポート 2020 では、パンデミックが企業の SDGs についての意識をどのように変え、コロナ克服戦略において SDGs をどのように位置づけているのかに焦点をあてました。本イベントではそれを紹介するとともに、基調講演及びパネルディスカッションを通じて、コロナ禍を克服する SDGs とビジネスについてより深堀していきます。

3 月 25 日(木) 13:00～15:10

開室 12:55

オンライン開催(無料)

主催: グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン

共催: 地球環境戦略研究機関 (IGES)


参加申し込み: オンラインにて受付(定員 500 名)

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_LH-EYXdiRka1xBYfsJlafw

お問い合わせ: GCNJ セミナー事務局

gcnj_seminar@ungcnj.org

13:00	開会挨拶	GCNJ 業務執行理事 SDGs タスクフォースメンバー	後藤敏彦
13:05	基調講演 SDGs の現況と企業への期待	キャスター 慶応義塾大学大学院 特任教授	国谷裕子
13:40	発表 SDGs 日本企業調査レポート 2020 の結果説明	公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES) 持続可能性ガバナンスセンター 研究員	小野田真二
14:00	パネルディスカッション: コロナ後の世界で闘う SDGs		
	モデレーター	同志社大学大学院 教授	飯塚まり
	パネリスト	一般社団法人 ASSC シニア・プロジェクト・オフィサー コマニー株式会社 取締役 常務執行役員 株式会社資生堂 社会価値創造本部 サステナブル環境室 室長 日本ユニシス株式会社 組織開発部 ダイバーシティ推進室 室長	渡辺美紀 塚本直之 中村亜希子 宮森未来
15:00	閉会挨拶	GCNJ 事務局長	大場恒雄



大学院生対象キャリアセミナー 国連職員に求められる人材とは？

5月19日(水) 16:40 – 18:10 (5講時)

オンライン開催 (Zoom) 事前申込制 先着10名

講師：山本 忠通 元 国連事務次長

元 国連事務次長をお迎えし、国連機関でどのような人材が
求められているのか、国連の基礎知識や専門性、調整能力など
具体的な例をあげて解説いただきます。

参加者は、国連職員になるためのキャリアパスを具体的に
イメージできるようになります。

使用言語は英語ですが、日本語も交えて行います。

英語が少し苦手だなという方もぜひ積極的に参加ください！

参加希望者は、メールでお申し込みください。

申込メールアドレス：

ji-ktken@mail.doshisha.ac.jp

※件名は「5/19キャリアセミナー申込」とし、
所属研究科と氏名を明記してください。



申込みはこちら

問合せ先：同志社大学 高等研究教育院事務室

TEL 075-251-3259

高等研究教育院Webサイト「学びのかたちの新展開」はこちら

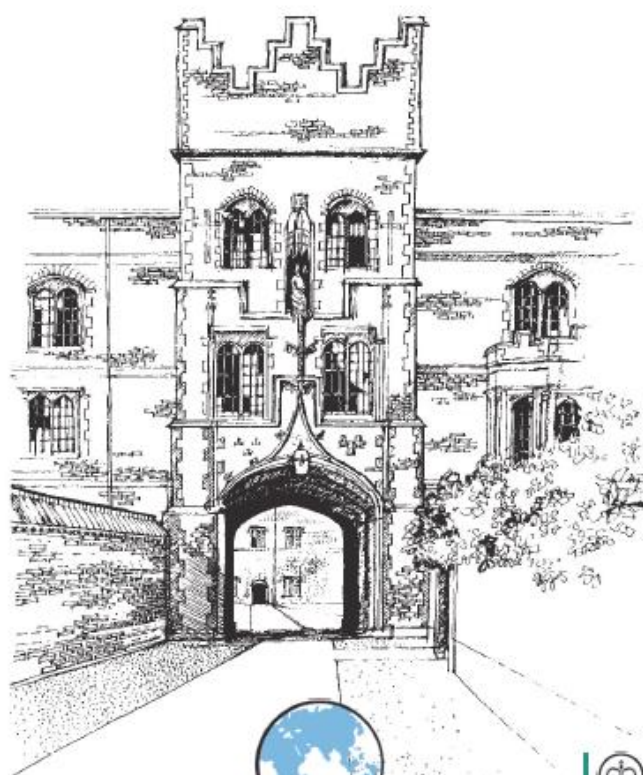


THIRTY-EIGHTH INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON ECONOMIC CRIME

SUNDAY 5th SEPTEMBER - SUNDAY 12th SEPTEMBER 2021

JESUS COLLEGE, UNIVERSITY OF CAMBRIDGE

Economic crime – who pays and who should pay?



ウェルビーイングなキャリアを
考える就活セミナー 第1弾

日時：12/2（木）
20時～21時半

各回：100名限定

参加費：無料 ＊アンケートに答えて頂きます

一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 経営学修士(MBA)

15年以上コーチング業界で活躍し、自ら1on1で行う経営層向けの
エグゼクティブコーチングや、
組織全体対象に企業価値を高める組織開発型コーチングなど多
種多様なコーチング経験あり。

こうした豊富なコーチング経験をベースに、「キャリア」に関する様々な
視点、情報をお話しいたします。

主催：同志社大学Well-being研究センター
後援：同志社大学ビジネス研究科

就活を、エグゼクティブコーチングの立場から、解説！

セルフコーチングを体験しよう



ご登壇：森田克司先生

人生の分岐点だからこそ、
90分で納得のいく将来の基盤に！
～あなたは就活で大きく成長する～

Web開催
予約はこちらから



ウェルビーイングなキャリアを
考える就活セミナー
第2弾・第3弾

日程：12/9（木）
20時～21時半
12/16（木）
20時～21時半

各回：100名限定

参加費：無料 ＊アンケートに答えて頂きます

株式会社NLPラーニング代表取締役

能力開発のプロ中のプロ

2005年にNLPラーニング社を設立し、NLP（神
経言語プログラミング）の資格認定コースと、
NLPを応用した多彩なテーマのセミナーと企業
研修を実施。国内のNLP指導においては最も実
績があるトレーナーの一人。著書多数。

主催：同志社大学Well-being研究センター
後援：同志社大学ビジネス研究科

ご登壇：山崎啓支先生

人生の分岐点だからこそ、
90分で納得のいく将来の基盤に！
～あなたは就活で大きく成長する～



Web開催
予約はこちらから



第101回人文科学研究所公開講演会



グリーン社会と ソーシャル・イノベーション 復興10年を超えて

東日本大震災から10年を経てエネルギー政策は大きく自然エネルギーへとシフトしようとしています。グリーン社会を市民がどうデザインしていくのか、そして目指す社会をどう実現していくのでしょうか。時代の変化をリードする東北からのゲストを迎え、これからの10年を共に考えたいと思います。

2021

12.18 | 土 | 13:30 ▶ 15:30 (開場: 13 時)

同志社大学今出川キャンパス良心館地下2番教室 | 会場 100名 / Zoom 150名

※新型コロナウイルスの感染状況によってはZoomのみで実施する可能性があります。その際は別途お知らせします。

基調講演

半谷 栄寿 氏

一般社団法人あすびと福島代表理事



東京電力の執行役員時代は新事業の責任者として、自然エネルギーの事業やJヴィレッジの設立に関与。

3.11以後、原子力事故への責任と出身地福島の復興への想いから次世代育成を志し邁進。



パネリスト

石田 秀輝 氏

合同会社地球村研究室代表社員、
京都大学特任教授、東北大学名誉教授



自然のすごさを驚く活かす新しいものづくり「ネイチャー・テクノロジー」を提唱し実践。心豊かな暮らし方のライフスタイル研究・実践の第一人者。

早瀬 昇 氏

社会福祉法人大阪ボランティア協会理事長、
同志社大学客員教授

阪神淡路大震災時、日本初の災害ボランティアセンターを創設。その後の全国の災害ボランティアセンターの運営に影響を与える。

進行 **服部 篤子**

同志社大学政策学部教授
人文科学研究所兼任研究員

グリーン社会とソーシャル・イノベーションをテーマに研究会を企画実施。市民が担うグリーン社会のモデルと普及を探る。

申込方法

申込フォーム

<https://jinbun.doshisha.ac.jp/event/form/18>

または

往復はがき

住所・氏名・電話番号・Zoomで受講希望の場合はメールアドレスを明記
※お申し込みの際の個人情報は、申込後の問合せや連絡、統計資料作成のために使用します。



参加無料
要申込

締切
12月16日(木)

主催 / お申込み

同志社大学人文科学研究所

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
14 075-251-3340 jinbun@mail.doshisha.ac.jp

協力

日本ソーシャル・イノベーション学会



グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン

ジェンダー平等事例集 Diversity & Inclusion

— 日本企業24社の取り組み —



協力企業・団体一覧(五十音順)

株式会社朝日新聞社
味の素株式会社
ANAホールディングス株式会社
立陶ニアコ株式会社
株式会社住友製作所
オリパコ株式会社
株式会社コーセー
国際航運株式会社
清水建設株式会社
株式会社新生銀行
住友理工株式会社
機米ハウス株式会社
株式会社セゾンブライ・ホールディングス
ソフトバンク株式会社
第一三共株式会社
大日本印刷株式会社
大和ハウス工業株式会社
株式会社デパリス・グループ株式会社
東武トリアックス株式会社
日本ユニシス株式会社
富士通株式会社
三菱ケミカル株式会社
ヤマハ株式会社
ローソン株式会社

2021年12月発行

執筆者

同志社大学大学院ビジネス研究科 教授 飯塚まり
グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン事務局

制作

制作にあたり、企画・監修・執筆の制作全般に
おいて多大なるご協力を賜りました同志社大
学大学院 ビジネス研究科 教授 飯塚まり先生、
インターネット資料のご提供にご協力いただき
ましたGCMJ会員企業の皆様におからの御意
をまします。
なお一部資料については、同志社大学より提
供頂きました。

PRESENT

ICOSOP 2022

18-19
MAY 2022

The 4th International Conference On Social
And Political Development

Grand City Hall Hotel ▪ Medan, North Sumatera

Keynote Speaker



Erick Thohir
Menteri BUMN - Indonesia

Tjahjo Kumolo
MenpanRB - Indonesia

Invited Speaker



Muryanto Amin
Rektor USU
Indonesia

Zainal Abidin
Universitas Islam Internasional
Malaysia



James Campbell
Deakin university
Australia

Henk Schulte Nordholt
KITLV
Netherlands



Eiji Oyamada
Doshisha University
Japan

Mudiati Rahmatunnisa
Universitas Padjadjaran
Indonesia



Conference Theme

Human Security and Agile Government

Sub-Themes

- Good Government, Civil Society, Public Services
- Global Competition & Entrepreneurship
- Development & Mass Conflict, Green Movement & Climate changes
- Politics & World Business, War & Geopolitics
- New Media & Culture, Policy communication, Therapeutic Communication
- Information and Communication Technology for Social Welfare
- Poverty & Marginalization, Social Works, Social change & social Transformation
- Local Wisdom & Ecology Survival, Natural resources & environmental policy,
- Sustainable development
- Agile Governance, Public Health, Pandemic Challenge

Registration Fee

Early Bird

before **March 15, 2022**

CATEGORIES	INTERNATIONAL	INDONESIAN
Presenter Participants	USD 200	IDR 2.000.000
Students Presenter Participants	USD 100	IDR 1.000.000
Non Presenter Participants	USD 85	IDR 750.000
Student Non Presenter Participants	USD 50	IDR 500.000
Poster Presentation	USD 100	IDR 1.000.000

Normal

after **March 15, 2022**

CATEGORIES	INTERNATIONAL	INDONESIAN
Presenter Participants	USD 250	IDR 2.750.000
Students Presenter Participants	USD 150	IDR 1.500.000
Non Presenter Participants	USD 85	IDR 950.000
Student Non Presenter Participants	USD 60	IDR 650.000
Poster Presentation	USD 150	IDR 1.500.000

Important Date

Deadline:

1. Abstract Submission : 15 March 2022
2. Fullpaper Submission : 10 April 2022
3. Registration and Payment : 20 April 2022

Contact Us

Maulana (082221479902)
Sabilla (085358090057)
Sofari (085762128322)

www.icosop.usu.ac.id